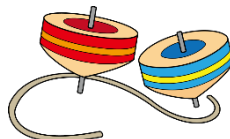


香西女性だより

発行
香西婦人会
令和3年1月
第59号

新しい年を迎えたものの、新型コロナウイルスの感染が続く中、静かなお正月を過ごされた方も多いのではないのでしょうか。長びく自粛生活ですが、気を緩めることなく頑張りましょう。

今回は、昨年いろいろな制約がある中で活動したことをいくつか紹介します。



調理器具の整頓 9月23・29日

食改では、これまで定期的に行ってきた料理教室が開催できない状況です。そこで、この時期を利用して、長い間課題となっていた調理器具の整頓をしました。

調理を終えた後の片付けの際、使った道具の戻し場所がわからず近くの引き出しに…となってしまう、次に調理する時は、まずは道具探しから始まることがしばしばありました。これを解決するために、



器具に色テープをつける



テーブル・棚を色分けする



置き場所に名前と写真を貼る

これなら、戻す場所が明確になり、だれにでもわかりやすくなったのではないのでしょうか。いつでも皆さんに気持ちよく使ってもらえるようにご協力お願いします。

男女共同参画講演会

「新型コロナウイルス禍をふまえた

防災を考える」 10月14日

この講演で一番納得したのは、各家庭に配られているハザードマップ（想定し得る最大規模の洪水を想定したり、避難場所、避難経路を表示したりした地図）の事です。

『ハザードマップに無いから、危険な場所はない。』という事ではない。という言葉が印象に残りました。即ち、現時点でハザードマップには、川にあちこちの支流から大量の水が流れ込んでくることが十分反映されていないのです。だから、特に水路等は、自分の目と足で確認が大切です。大量の水が流れ

込むと、水路と道の境目が判らなくなります。日頃から、水路や道の位置の確認が大切だと痛感しました。

もう一つ、災害（大雨、地震、落雷、強風、津波など）の時は、一人では考えが広がらないし、大変ですので、地域で考えることの大切さが分かりました。

災害から身を守るため、自分↓家族↓近所↓地域と情報共有したいと思います。

災害の避難で大切なのは、

- ① 声をかけあう
- ② 集めた情報は皆で共有する
- ③ 会館を活用する
- ④ 情報や物資を提供しあう

という事は、常々声を掛け合い、情報交換が大切という事です。

これからも声をかけまくって、「お節介なおばさんになろう！」と思いました。

元々、私たちは得意分野です。



☆避難場所には、マスクを忘れないでね。密になる可能性大だからね。

風呂敷講座

11月11日

エコバックを持つての買い物が定着してきた
た。昨日、風呂敷の使い方を見直してみようと
企画しました。

タンスの引き出しに眠
っている風呂敷を持つて、
わくわくしながら講座に
望みました。開始前の見本
作成中、次々変身していく
風呂敷に感嘆の声があが
りました。

先生の説明を聞きながら、持つてきた風呂
敷を見よう見まねで包んでいくと、エコバッ
クになったりリュックになったりと、次々と
変化していきます。丸いボールやスイカも包
めるのには驚きました。ボトルもお洒落に包
めて他の方にプレゼントする時に使えそうで
す。ティッシュカバーは日替わりで楽しむの
もよいですね。

風呂敷を使ったエプロンも紹介され、いろ
んな使い方があって、感心しました。

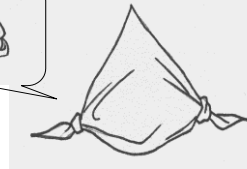


参加された方より『大変楽しかったです。ま
るで手品を見ていようような結び方もあったの
で、忘れないように家に帰って練習します。』
との感想をいただきました。

簡単エコバック



① 三角にたたんだ両端を「一つ結び」する



② 上の端を「真結び」にして持ち手をつくる

文化祭

11月28日

文化祭初日の午前中に食改による試食会を
しました。大根と人参の煮付や青菜のごま和
え、キャベツの塩昆布和えなど手軽に手に入
る材料で簡単にできるもの8種類を作り、「野
菜をたくさん食べましょう」と呼び掛けて試
食してもらいました。各種20人分作りまし
た。どれも好評で完食となりました。

一人分一皿の盛り付けは70グラムを目安
に一日350グラムの野菜を食べるのが理想です。
ぜひ実行してください。

また、8月に作成した手づくりマスクも販
売させていただき、こちらも完売となりました。
ご協力いただいた皆さん、ありがとうございました。

金柑の甘露煮

神邊 節子

去る10月15日、元婦人会長の松山裕子
様が88歳で逝去されました。

私と松山様との出会いは、金柑の甘露煮
でした。と言つても、出会ったのは甘露煮
だけ。当時ご主人様と一緒に勤めていた小
学校の職員室に届けられたものです。とて
も美味しくて、金柑を苦手とっていた私
がぺろりと食べることができたのです。

ご主人様にお話を伺うと、奥様の手作り
だとの事。さっそくレシピを教えてください
て作ってみました。同じ味にはなりません
でした。

20年以上が過ぎた頃、婦人会長として
活躍されている松山様と初めてお目にか
かりました。穏やかな語り口調と行動力
で、私たち婦人会を常に引っ張ってくださ
いました。香西まつりが大々的に行われる
ようになったのも、松山様のお口添えがあ
ったからと伺っております。

通夜の後お話を伺うと、金柑の甘露煮は
ご主人様が引き継いで作っておられるそ
うです。

私たちも、松山様から引き継いできた婦
人会を、大切に守り育てていきたいと思
いました。

松山様、これからも天国で私たちの婦人
会活動を見守ってくださいね。